

## ようこそ、カラカス日本人学校ホームページに

本校は今年創立43年目を迎えた世界でも有数の歴史を誇る日本人学校です。これまで、ベネズエラ カラカスの地で、邦人の方々やベネズエラの方々に支えられ、親しまれてきた伝統校です。

先人たちが、1975年バージェフレスコに学校を創立し、カステジャーナを経て、1981年に現在のアティージョの広大な地に白亜の三階建ての校舎を建築しました。この間、児童生徒数の一番多い時には全校119名を記録し、今までに卒業していった児童生徒は約300名、今までに在籍した児童生徒は1000名を越します。

本校を卒業した子どもたちが成人して世界中で活躍しています。本校で学んだ子どもたちの子どもが世界のどこかの日本人学校で学んでいます。そして、今も世界のどこかで同じ星空を眺めながら母校カラカス日本人学校に思いをはせている人がきっといることでしょう。

私たち日本人学校に関わる人間は、脈々と続く時の流れを大切に、カラカス日本人学校を創立し、ここまで育ててくださった先人たちに大いに感謝し、拍手を送りたいと思います。

さて、本年度の重点目標を「学校むちゃ楽しい」としました。すべての子どもたちに「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を基盤とする「生きる力」を着実に育てることをねらいとして、「全教職員が全児童の指導に当たる（我が子の如く慈しむ）」姿勢を大切に、全教職員一丸となって教育活動を推進していきます。そのために、全教職員が一人一人の子どもとの心と個性をしっかりと見極め、「毎日が明るく楽しい中にも、切磋琢磨しあう学校」を目指していきたいと考えています。子どもたちの口から、「学校が楽しい」「勉強が楽しい」「みんなと遊ぶのが楽しい」…という声が聞けるよう、教職員が一丸となって取り組む覚悟です。

また、カラカス日本人学校らしい「特色ある学校」を目指していきます。世界一児童生徒数の少ない日本人学校で学ぶことの素晴らしさを実感させるのが、私たちの務めであると思っています。安心してください。確かな学びと充実した学校生活を約束します。

このホームページを通じて、ありのままのベネズエラ、ありのままのカラカス、ありのままの日本人学校の姿をリアルタイムでお知らせします。見てください、知ってください、わかってください、感じてください。日本から遠く離れたこの地にもたくましく育つ子どもたちがいることを。

第15代カラカス日本人学校 校長 横山 順一（福岡市）